

4/30 木

コロナ病棟継続51%

全国医学部長病院長会議 各大学を調査



全国医学部長病院長会議は28日、新型コロナウイルスの5類移行で、医学部付属病院がある全国の大学のうち36大学がコロナ専門病棟を縮小または廃止したこと明らかにしました。

同会議が各大学にアンケート調査をしたところ、3月末の時点では回答があった74大学のうち51・4%にあたる

新型コロナウイルスの5類移行について
医療を逃れる全国医
学部長病院長会議の
横手会議は同日、東
京都平代田区

横手会議は「引き続き設

置している」と答えました。一方で「縮小して設置している」(22大学)、「すでに廃止し、一般病棟で受け入れ」(14大学)と回答した大学もありました。政府は5月8日から

新型コロナウイルスワクチンの副反応を調べる厚生労働省の専門部会が28日開かれ、接種後に発熱や頭痛などが長期間続いた症例に関する初の実態調査結果を公表しました。症

じて「専門病棟を維持する財政支援が実質的になり、一般病棟の一部でコロナの患者を受け入れることになる」と指摘。その上で

「コロナ患者が増えることで通常診療が大幅に制約され、看護師の負担が今後も続くことを強調しました。横手会長は、「5類移行で「専門病棟を維持する財政支援が実質的になり、一般病棟の一部でコロナの患者を受け入れることになる」と指摘。その上で

「5類移行で検査費用の公費負担がな

くなる問題について「これまで手での入院患者と手術患者にP

ました。また、5類移行で検査費用の公費負担がな

くなる問題について「これまで手での入院患者と手術患者にP

ました。また、5類移行で検査費用の公費負担がな

ワクチン副反応実態調査

接種後の長引く症例、多岐に

新型コロナによる調査は2021年2月～22年5月に受診した10～50代の男女が対象。医療機関から128人、医師から110人の回答があり

（1人）もありました。医師からの回答には最も支障が出た症状についての質問もあり、発熱が最多の28人となる一方、関節痛（9人）、意識障害（4人）、しびれ（1人）など訴えた人もいました。

医療機関から回答がありました。医師からの回答には最も支障が出た症状についての質問もあり、発熱が最多の28人となる一方、関節痛（9人）、意識障害（4人）、しびれ（1人）など訴えた人もいました。今回調査は症状とワクチン接種との因果関係については調べていません。

調査に当たった大曲

生労働相に対し、5類移行後も診療報酬の臨時特例や補助金を継続するよう求めていました。

同会議は加藤勝信厚生労働相に対し、5類移行後も診療報酬の臨時特例や補助金を継続するよう求めていました。

センター国際感染症セミナー長は「今後は個別の症例を詳細に調べる必要がある」と指摘しました。

CR検査をして陰性が確認されたから治療を始めた。今後は各病院の判断で検査費用を支出することになるが、検査をしなければ病棟内に感染が広がる危険性もある」と説明しました。

（22人）、脳神経内科（18人）と続く一方、

横手会議は同日、東京都平代田区

横手会議は「引き続き設

置している」と答えました。

新型コロナウイルスの5類移行について医療を逃れる全国医

学部長病院長会議の

横手会議は同日、東京都平代田区

横手会議は「引き続き設

置している」と答えました。

センター国際感染症セミナー長は「今後は個別の症例を詳細に調べる必要がある」と指摘しました。

CR検査をして陰性が確認されたから治療を始めた。今後は各病院の判断で検査費用を支出することになるが、検査をしなければ病棟内に感染が広がる危険性もある」と説明しました。

（22人）、脳神経内科（18人）と続く一方、

横手会議は同日、東京都平代田区